

## カタストロフからの哲学

ジャン・ピエール・デュピュイをめぐって

渡名喜康哲、森元康介編著

現代文明が直面する危機に人類は  
いかに向き合うべきか。フランスの  
思想家ジャン・ピエール・デュピュ  
イが社会思想の観点からカタストロ  
フの問題を軸に科学と未来を問い直  
す。ここで言うカタストロフとは、  
人間世界の文明の「破局」に向き合  
うことで「後」から見ればあ  
る種の必然的なプロセスに基づいて  
いるとはいえ、その「前」において  
は予期することができない偶然的な  
事象として現れる」と提示される。  
ここでは4人の論者が、人間の集団  
として秩序をなすメカニズムの問題  
から、社会思想、科学哲学、キリス  
ト教といった観点からデュピュイの  
理論を現実に引き寄せて解読する。



B6判／191頁／2200円  
以文社